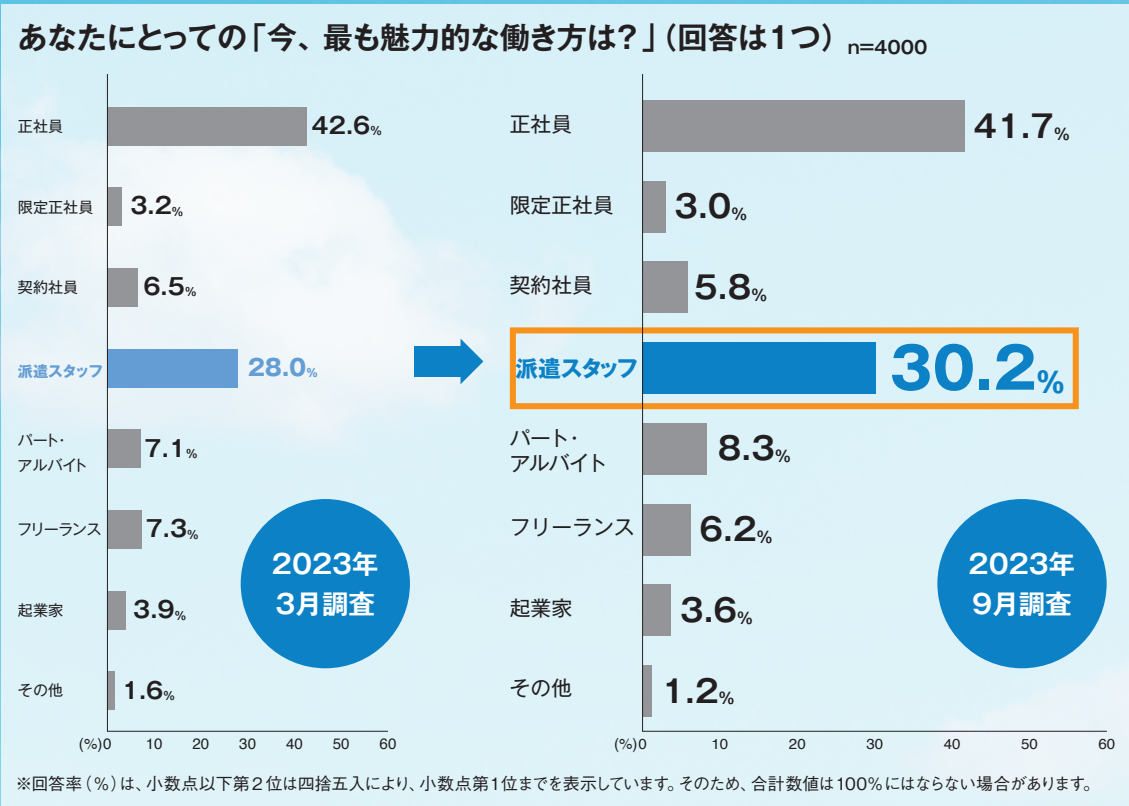


# 「あえて派遣！」

——派遣スタッフの3割が「自分にとっては派遣という働き方が最も魅力的」と回答。「正社員はもううんざり」の声も



本誌2023年8月号で特集した「人材派遣という理想郷」では、4000人の派遣スタッフを対象とした本誌の実態調査において、派遣スタッフの28%が「派遣は『今、最も魅力的な働き方』と回答。その内容には、読者である業界関係者からも多くの反響が寄せられた。さらに、半年後の2023年9月に実施した同様の調査では30.2%の派遣スタッフが「派遣は『今、最も魅力的な働き方』と回答するなど、「あえて派遣!」の割合は増加した。本特集では、多くの派遣スタッフが実感していた『当事者だから分かる、「人材派遣という働き方の魅力」をより深く掘り下げてみたい。(本誌 伊藤秀範)

# が増加へ

「不本意派遣が多い」は今や昔!? 多くの派遣スタッフが実感していた『当事者だから分かる、「人材派遣という働き方の魅力』とは?

伴走者がいてくれる!/自由がある/ワークライフバランス/履歴書よりも即戦力で評価/仕事に見合った報酬/嫌なら辞めやすい/ストレスが少ない/仕事の選択肢が豊富/求人を探してくれる/一つの職場に縛られない/職場の人間関係のしがらみがない...



■調査概要■  
 ●実施期間・・・2023年9月22日～27日 ●有効回答数・・・4000人 ●男女比・・・男性1320人(33.0%)、女性2680人(67.0%)  
 ●年齢比・・・10代:5人(0.1%)、20代:339人(8.5%)、30代:841人(21.0%)、40代:1396人(34.9%)、50代:1419人(35.5%)  
 ●雇用形態・・・有期雇用:2695人(67.4%)、無期雇用:1305人(32.6%)

図表1 2023年3月調査

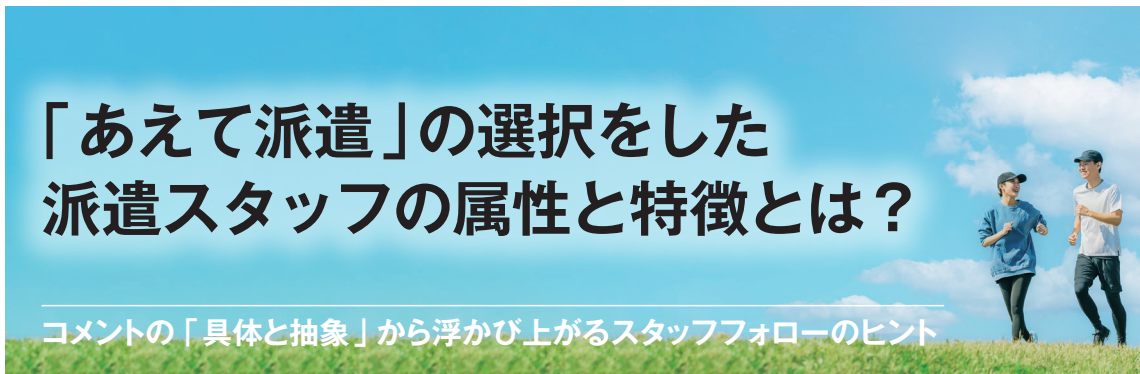
[派遣会社別]人材派遣が「今、最も魅力のある働き方」と回答した所属スタッフの割合ランキング

1位	パーソルテンプスタッフ	32.2%
2位	マンパワーグループ	31.8%
3位	リクルートスタッフィング	29.6%
4位	アデコ	25.6%
5位	アヴァンティススタッフ	24.1%
6位	東京海上日動キャリアサービス	23.5%
7位	ヒューマンラスト	23.2%
8位	ランスタッド	22.9%
9位	スタッフサービス	22.5%
10位	パソナ	18.9%
11位	ヒューマンリソシア	16.3%
12位	パーソルパナソニック HRパートナーズ	14.1%
13位	マイナビワークス	10.4%
	その他	33.1%

図表2 2023年9月調査

[派遣会社別]人材派遣が「今、最も魅力のある働き方」と回答した所属スタッフの割合ランキング

1位	アデコ	33.2%
2位	マンパワーグループ	32.9%
3位	パーソルテンプスタッフ	31.4%
4位	ヒューマンリソシア	31.3%
5位	リクルートスタッフィング	29.3%
6位	ランスタッド	28.6%
7位	東京海上日動キャリアサービス	28.4%
8位	パソナ	28.2%
9位	アヴァンティススタッフ	28.1%
10位	スタッフサービス	25.1%
11位	パーソルエクセル HRパートナーズ	20.0%
12位	マイナビワークス	15.2%
13位	ヒューマンラスト	14.0%
	その他	33.0%



「あえて非正規」拡大の報道も

先日の日経新聞（2024年3月4日朝刊）で、「あえて非正規若者に拡大」という見出しの記事を見かけた。

同記事の冒頭部分を少し、以下に引用させていただく。

△非正規の働き方をあえて選ぶ人が増えている。25〜34歳のうち、都合の良い時間に働きたいとして非正規になった人は2023年に73万人と、10年前より14万人増えた。「正規の職がない」ことを理由にした非正規は半減した。正社員にこだわらない働き方であった処遇や、社会保障の制度設計が必要になっている。

都内で働く25歳のある女性は大手IT（情報技術）企業の正社員から、非正規社員として音楽業界に転職した。「多少給料が減って安定しなくても、やりたいことを追求したい」・・・。

たまたま、前ページのある統計データを基に、本特集テーマの企画・掲載を見計らっていたタイミ

ングでもあり、安直な発想ではあるが、即座に「あえて派遣」というタイトルを思い付き、「よし、これで行こう!」となった次第である。

先の日経記事の文末には、あえて正社員から非正規社員に移行した25歳女性の「多少給料が減って安定しなくても、やりたいことを追求したい」というコメントもある。「給料が安い」「不安定」なイメージが先行しがちな非正規雇用であるが、当事者の満足度のモノサシは「高給」と「安定」ばかりとは限らない。

本誌では年に2回、「派遣スタッフ満足度調査」と併せて、400人の派遣スタッフを対象とした各種アンケート調査を実施しているが、その中でも特に重視しているのは当事者の「コメント」である。

そのコメントの一つひとつを吟味していくと、「高給」と「安定」ばかりではない、さまざまな「あえて派遣」という道を選択した個人の「理想の生き方」や「優先したいこと」などの理由、こだわりが浮かび上がってくる。

「派遣スタッフ満足度調査」自

メントを抽象化し、帰納法によるキーワードの抽出に力点を置いている。

一方で、普段から派遣スタッフと接する機会が多い読者であればむしろ、演繹的なアプローチの併用も有益と思われる。本誌ではまだその分析と記事化に向けたアプローチには至っていないが、一つひとつのコメントの細分化、具体化による、よりきめ細やかなスタッフフォローのあり方の模索は、検討の価値があるテーマであろうと思われる。

「あえて派遣」所属スタッフの多い派遣会社

本特集は、「今、最も魅力的な働き方」というテーマで、4000人の派遣スタッフを対象に、2023年3月と2023年9月の2回に分けて実施した調査データが基になっている。

その中で、特集トビラの11頁に掲載した2つの図表の対比に着目。派遣スタッフの30・2%が、

体は択一問題による回答データの統計であるが、実態調査も含めた各種アンケート調査では、その回答を選択した「理由」、あるいは所属する派遣会社の「ここが好き・ここが嫌い」や「印象に残る担当者の一言とは?」、「派遣で働く中で感じる『幸せの瞬間』とは?」など、回答欄を埋めるのにやや手間のかかる質問も、あえて行っている。

アンケートに回答する派遣スタッフの立場に立てば、回答欄にどんなコメントを書こうか、受け取れる謝礼は同じ。ならば「なし」「思い浮かばない」で済ます人も少なくはない一方で、おそらくは所属する派遣会社の担当者の前ではなかなか口にできないであろう、不満や称賛、そして要望などの想いを、短くはない文字数で書いてくれる人も、実は意外に多い。先の日経記事内にあった「多少給料が減って安定しなくても、やりたいことを追求したい」のコメントではないが、読む人に「その行間を読む想像力」があれば、一つひとつのコメントから気付けられる情報量は膨大である。

本特集ではさまざまな内容のコ

「派遣という働き方」を「今、最も魅力的な働き方」として選び、しかもその割合は半年前よりも増加している点は、かつて、「雇用の調整弁」などと揶揄され、ユーザー側の「利点」ばかりがクローズアップされていた旧態依然の感覚の人にとっては意外なデータと映るのかもしれない。

もともと、このデータのみをもつて、派遣スタッフ間における「派遣という働き方」の魅力度が上昇傾向にあり、その魅力が理解・浸透しつつあると判断するのはいささか早計であろうと思う。

よって、ここでは「派遣という働き方」を「今、最も魅力的な働き方」として選択している派遣スタッフの特徴と傾向を、属性などの複数の角度から見みたい。

図表1と図表2は、時期を異にする、派遣会社別の「人材派遣が『今、最も魅力のある働き方』と回答した所属スタッフの割合ランキング」のデータである。

ここでは個別の派遣会社の比較という視点よりも、むしろ規模別の比較で見ると、「人材派遣が『今、最も魅力のある働き方』と回答した所属スタッフの割合」は、